

令和5年度行政評価 施策評価シート (令和4年度実績)

施策名 男女共同参画の実現に向けた社会づくり

施策コード 5030204

1. 施策の担当	
主管課	市民協働部 人権推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり (自律・協働・多様性)	第2節 人権・多文化共生
	施策	男女共同参画の実現に向けた社会づくり	

**基本方針**  
 政策及び方針決定をはじめ、あらゆる分野において、性別にかかわらず人権が尊重され、男女それぞれの個性と能力を十分に発揮することができる、対等なパートナーとして参画できる社会の実現をめざします。

**現況と課題**  
 ●第3次泉佐野市男女共同参画推進計画(第3次人ひとプラン)に基き、毎年、実施計画及び進捗状況の調査を行いながら、計画の推進に努めています。  
 ●各種講座、セミナー等を開催していますが、市民ニーズの多様化や新しい課題への対応、また、男性受講者及び親子の増加に向けた企画が必要です。  
 ●男女共同参画社会実現のための拠点施設として、いずみさの女性センターを開設し、市民に向けた取り組みを実施するとともに、自主グループの育成と活動に努めています。  
 ●配偶者等からの暴力など様々な問題を抱える市民を支援していけるよう、情報を提供するとともに相談事業の拡充に努めています。  
 ●女性活躍推進法に基づき、職場の男女平等、企業や地域団体等での女性の参画、政策方針決定への女性の参画、管理職への女性の登用などについての啓発、促進、環境整備などが必要です。

**施策目標**  
 対象(誰を、何を、どこを)  
 市民及び社会  
 意図(どのような状態にしたいのか)  
 性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	47.4						
重要度(偏差値)	41.4						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	千円	R3決算	R4決算				
	事業費		17,172	17,244				
	フルコスト		3,397	2,663				
財源内訳	国庫支出金	千円	20,569	19,907				
	府支出金		0	0				
	市債		51	0				
	その他		0	0				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		20,518	19,907				
一般財源2(=直接事業費-特定財源)	3,346	2,663						

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		いずみさの泉佐野女性センターの利用者数(延べ数)					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	6,150.0	6,200.0	6,250.0	6,300.0	6,340.0	6,380.0	6,420.0
実績値	2,173.0	1,308.0	2,049.0				
達成度	35.33	21.1	32.78				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
男女共同参画社会づくりの拠点施設である"いずみさの女性センター"の利用者数は、男女共同参画社会の市民理解力啓発の指標の一つとなる。		令和5年度までの目標値については、毎年50人ずつ増加させることを目標とし、それ以降、令和10年度までの目標値については、毎年40人ずつ増加させることを目標とした。		R4年度は、コロナ禍が落ち着き前年度より増加したが、R3年度より女性センターが委託業務となり、センター内が無人状態化したため委託前の利用者数には及ばず。			

② KPI 2		施策及び方針決定の場への女性参画率					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0
実績値	22.7	21.0	22.8				
達成度	70.94	63.64	67.06				

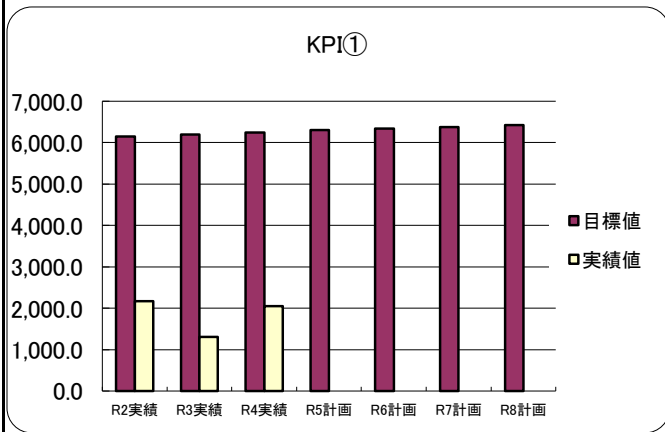
KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
女性の参画率により、その分野での男女共同参画社会に向けた社会環境づくりの推進度が解ります。	毎年1%ずつ増加させることを目標とした。	審議会等に関心の高い女性の任用に努めており、女性が参加しやすい社会の体制も徐々に整備されている。男女の意識変革も時代と共に変化している。審議会等委員は、以前は”あて職”での登用も多く、各種団体等は会長に女性が少なかった。しかし、ここ数年はその傾向も払拭されてきている。

③ KPI 3		男女共同参画社会啓発事業（講座・イベントなど）参加者数（延べ数）					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	2,200.0	2,300.0	2,400.0	2,500.0	2,600.0	2,700.0	2,800.0
実績値	997.0	1,721.0	1,521.0				
達成度	45.32	74.83	63.38				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
男女共同参画社会を推進する上で、市民協働型での事業実施と市民ニーズの掘起こしが重要であるため、市民と協働で実施した講座・イベントの参加者数を指標とした。	毎年100人ずつ増加させることを目標とした。	R4年度はコロナ禍も落ち着いてきたが、参加数としては前年度を下回った。原因としては、新型コロナウイルスの感染を回避するため外出を控えているものと思われる。

④ KPI 4		女性のための相談件数（面接・電話）					
項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画
目標値	215.0	220.0	225.0	230.0	234.0	238.0	242.0
実績値	179.0	167.0	187.0				
達成度	83.26	75.91	83.11				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
男女共同参画社会づくりの拠点施設であるいずみさの女性センターの利用者数は、男女共同参画社会の市民理解力啓発の指標の一つとなり得る。	令和5年度までは毎年5人ずつ、それ以降、令和10年度までは毎年4人ずつ増加させることを目標とした。	R4年度はコロナ禍も落ち着き、前年度より全体的件数は増加した。ただし、面接相談の件数は減少傾向にある。これは、新型コロナウイルスの感染を回避するため外出を控えているものと思われる。それに対して電話相談の件数は増加傾向で、なおかつリピーターが増加している。これは、電話相談に対する認知度や信頼度が向上したものと考えられ、非常に良い傾向である。



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	条例や規則に定めた審議会や委員会のみならず、市主催の実行委員会や協議会等への女性の参画率の推移について、周辺市や府ではデータは公表されていないので、当市における参画率のデータの希少性と有効性は今後も重要と思われる。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	政治・経済・防災・地域活動等のあらゆる分野において、女性の参画の拡大は当市においても喫緊の課題であり、数値目標を掲げて実行していくことが、市民ニーズにも表れになると考える。 H30市民アンケート満足度(偏差値)は47.4となり、H24調査時の52.9に比べ低下した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	国の第5次男女共同参画基本計画及びDV防止法、府の男女共同参画推進条例、おおさか男女共同参画プラン、それらの法令等に掲げられている従来型の女性のためだけの共同参画ではなく、男性や子どもにとっての男女共同参画の新たな展開が社会潮流となってきている。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	引き続き男女共同参画社会基本法及び第3次泉佐野市男女共同参画推進計画に基づき各種目標値の達成に努める。特に、審議会等への女性の参画率向上のため、委員に推薦できる女性人材の確保並びに審議会等の担当課への働きかけを強化する。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		C	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価(理事者による評価)		C	新型コロナウイルス感染症による各種制限が緩和されたが、コロナ禍前までには回復していない。引き続き目標値の達成に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R4年度決算額			R5年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01007200	男女共同参画政策推進事業	4,376	210	210	0	B
2	01007250	男女共同参画サポート事業	12,868	2,453	2,453	0	B
合計			17,244	2,663	2,663	0	